

アグレンジャー

越知町産業課
西森 陽

～農業を助ける！農業を始める！～

現状 離農・高齢化・副業農家減少

- ◆ 資材価格の**高騰**によって**離農者**が増加
- ◆ 高齢化による**労働投入量**が減少
- ◆ 農産物の**価格**や単位面積当たりの**収益**の低迷
- ◆ 副業農家**減少**

課題 労働力不足＋低収入

- ◆ 労働力が足りない(労働力人口に占める農業者の割合 2015 **0.17%**→2020 **0.13%**)
- ◆ 収益が低い(平均世帯年収 **386万円**
高知県で**29**位/34市町村中 全国平均より下)



農家の収益向上・
独自のトマトブランドで町おこし



アグレンジャー

政策① 役場職員の副業解禁

⇒役場職員が業務外で収穫等のアルバイトをする

・副業要領

【条件】農家との利害関係が発生する農業委員会の職員は除外し、以下の全条件を満たす場合

- (1)町業務に当たる日は1日3時間以下
- (2)週計8時間以下
- (3)月計30時間以下

政策② ミニトマト開発支援事業

⇒トマト栽培は初期費用にお金がかかり、取り組む人が少ないため、町が経済的支援を行う。

- ・対象者 町内に事業所又は住所を置く、個人及び団体
- ・予算 250万円(50万×5件)
- ・補助限度額及び補助率
 - (1)補助限度額 50万
 - (2)補助率 1/2以内
 - (3)交付回数 1回まで/年度



効果

- ・農家の**労働力不足解消**
- ・農業者の**減少**が**STOP**
- ・**役場職員のスキルアップ**にもつながる

効果

- ・農家の**収益が向上**し、**離農者が減少**する
- ・越知町に**ミニトマトブランド**が誕生



予算

政策①
0円

+

政策②
250万円

=

合計
250万円

目標

R7農業者
減少0

R7農地・集積率
減少0

R7労働力不足
を感じる農家0

R7トマト農家
11経営体

ビジョン

越知町の農業危機が回避できる！
越知町ミニトマトブランドで収益向上！